

案 内

第 94 回（2022 年秋季）講演大会開催報告

2022 年 11 月 24 日（木）と 25 日（金）の二日間、中部支部主催による第 94 回講演大会（実行委員長：大林中部支部長）を名古屋国際会議場にて開催し、無事終了いたしました。今回は、講演大会前日の 11 月 23 日（祝日）に中部地区の自動車ものづくり関連博物館・展示場の視察が企画・実施されました。

本講演大会開催にあたりましては新型コロナの第 8 波の感染拡大が懸念されましたが、十分な感染対策を講じた上で対面参加とオンライン配信を併用することで開催が実現しました。

今回は発表者には全員名古屋国際会議場にお集まり頂き、来場できない方には Zoom ウェビナーにて配信する形式といたしました。国際会議場には初日：107 名、二日目：92 名の方が集い、オンライン配信には初日：66 名、二日目：65 名の方にアクセスいただき、活発な質疑応答がなされました。

運営に当たりましては、本部事務局スタッフと中部支部（愛知工研）スタッフの連携に加えて、大同大学の学生さんのご協力によってスムーズに運びました。

講演大会では、田村・川寄記念講演：1 件、Jセッション講演：19 件、一般講演：9 件、シンポジウムでの基調講演：1 件、依頼講演：5 件の発表がありました。更に今回は、13 社より企業展示ブースを開設頂き、多くの参加者で賑わいました。

初日は、19 件の Jセッション発表と田村・川寄記念講演で構成され、Jセッションでは若手研究者・技術者によって熱処理におけるマイクロ組織形成と特性制御、各種表面改質、熱処理プロセスに加えて、Cu, Al, Ti, Ni, Nb など非鉄金属材料の熱処理を対象とした研究成果も発表されました。

田村・川寄記念講演では、豊田工業大学 奥宮正洋教授（当協会会長）より「窒素を活用した熱処理の展望」と題して、CO₂ 排出量削減の有力な切り札となる、ガス浸炭窒化、浸窒焼入れ、表面窒化による表面改質などについて分かりやすくお話をいただきました。

また今回は、中部支部のイノベーション活動報告として、“ねつ・がーる”の紹介と第一回熱処理コンテストの結果報告および第一回優勝の“鳥取県金属熱処理協業組合より受賞の弁が紹介されました（詳細は協会ホームページに掲載）。更に、トヨタ自動車西田幸司企画担当より第 2 回熱処理コンテストの実施要領が発表されました。

初日の講演終了後には、Jセッション 19 件について黒田大介審査委員長を含め 9 名の審査委員で厳正な審査を行い、最優秀発表 1 件と優秀発表 2 件の研究発表奨励賞を選出しました。

懇親会に関しては、アルコール抜きではありましたが事前にお申し込み頂いた 67 名の参加者と企業展示出展社の方々と交えて盛大に開催いたしました。

二日目の午前中は 9 件の一般講演がありました。講演に引き続き、前日の審査で決定した研究発表奨励賞



名古屋国際会議場



秋季講演大会案内板



企業展示の様子



講演会会場の様子



田村・川寄記念講演の様子

3件に対して、奥宮会長より受賞者に賞状が授与されました。

[最優秀賞]：東北大学(院) 唐 国剣君

講演題目「 α -Fe 粒界への C, N 偏析濃度の定量測定」

[優秀賞]：金沢大学(院) 加藤琉聖君

講演題目「Cu/Fe 積層材の冷却中に形成する超微細粒組織」

[優秀賞]：東京工業大学(院) 志岐瑞帆君

講演題目「ナノインデンテーション法を用いたラスマルテンサイトの塑性変形挙動評価」

二日目の午後には、「自動車部品の熱処理技術」に関するシンポジウムが開催され、日産自動車(株)塩飽紀之氏より「電動化が求めるパワートレインの生産技術」と題する基調講演に続いて、自動車の電動化を念頭においた5件の依頼講演をいただきました。

最後に、本講演大会の企画・準備・実施に携わっていただきました全ての関係者に心よりお礼申し上げます。また、本講演大会開催にあたりましては、名古屋国際会議場スタッフの方々には二日間にわたって会場のアレンジを頂きました。ここにご報告し(一社)日本熱処理技術協会として厚く御礼申し上げます。

次回の第95回(2023年春季)講演大会は、2023年5月22日(月)と23日(火)の二日間、東京工業大学での開催を予定しております。多くの方々の発表と聴講を期待いたしております。

また、2023年11月13日～16日の間、横浜にて第28回 IFHTSE Congress を開催致します。多くの方々のご参加をお待ちしております。



懇親会の様子



最優秀賞受賞の唐 国剣君と
優秀賞受賞の志岐瑞帆君と加藤琉聖君



奥宮会長および黒田審査委員長とともにJセッション発表者の皆さん